

はじめ さとう一後援会だより

絆をつないで、活力ある、魅力ある春日部に

KIZUNA

後援会内部資料 第41号発行 平成30年10月吉日
さとう一後援会 会長 萩原政邦
春日部市小淵1912 Tel/fax 048-761-7753



春日部市議会議員 佐藤一

平成30年9月議会報告（主な議題について）

1、平成29年度決算概要について（9月は前年度の決算についてです）

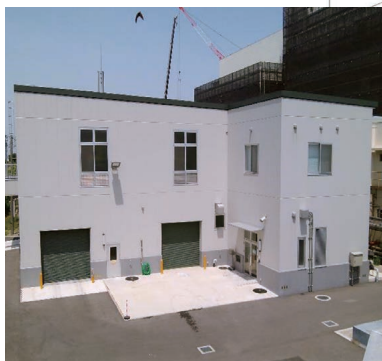
①一般会計の決算総額は、歳入（収入）722億862万円、歳出（支出）692億3852万4千円です。額から翌年度へ繰り越すべき財源（お金を翌年度に繰り越して使用する場合に残しておく必要があるお金）7億5946万9千円を差し引いた実質収支額（収入と支出の差）は22億1062万6千円となりました。

主な事業として、児童生徒の学校環境の改善及び地域住民の避難場所としての「小中学校体育館トイレ改修事業」、老朽化したごみ焼却施設の長寿命化を目的とした「ごみ焼却施設長寿命化事業」、し尿及び浄化槽の汚泥を処理する「汚泥再生処理センター運営事業」、市役所交差点の改良工事を実施した「（仮称）春日部駅東西連絡路整備事業」、浸水・冠水被害の解消・軽減のため排水路等を整備した「治水対策事業」などです。

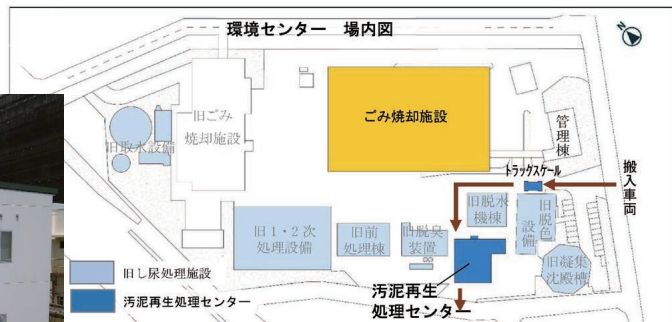
※特別会計は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、西金野井第二土地区画整理事業、看護専門学校の5会計です。



※ごみ焼却施設



※汚泥再生処理センター



環境センター 場内図

◎監査意見→歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源（お金を翌年度に繰り越して使用する場合に残しておく必要があるお金）7億5946万9千円を差し引いた実質収支額（収入と支出の差）は22億1062万6千円である。平成30年3月末の基金残高（市の貯金）は127億1390万円で、前年度より2億1679万2千円の増となった。そのうち財政調整基金（市の貯金）は、42億722万2千円で、前年度より1億9450万3千円の増となった。災害の発生時等による不測の事態に備えるために適正規模を維持し、運用方法についても研究を進められたい。

②特別会計5会計について→歳入決算額は前年度に比べ11億4529万3千円の増となった。歳出決算額は、前年度に比べ7億768万5千円の増となった。前年度に比べ、国民健康保険は歳入歳出とも減。後期高齢者医療は歳入歳出共に増。介護保険は歳入歳出共に増。西金野井第二土地区画整理事業と看護専門学校については黒字となっています。

◎**監査意見**→歳入の根幹をなす市税は284億3693万3千円で、収納率は96・4%となっている。国民健康保険税は55億5217万9千円で、収納率は68%となっており、収納率が市税に比べ低い水準となっている。負担の公平性と事業の安定運営のため、収入未済額（年度内に収入できなかった額）の縮減と滞納の未然防止に努められたい。

2、企業会計決算について

・水道事業→総収益は約43億円で、総費用は約40億円となり、3億1162万2千円の純利となった。給水人口は前年度に比べ708人の減となり、給水戸数は前年度に比べ11076戸の増となった。

◎**監査意見**→水道事業については、おおむね安定した経営を維持しているが、今後は災害に備えるとともに、内部留保金（40億円）を有効活用し、安定かつ計画的な事業運営を図られたい。

・病院事業→入院患者数は前年度に比べ2万991人の増となっている。外来新患者数は前年度に比べ861人の減となったが、外来延患者数は前年度に比べ1万2888人の増となった。利益は2億1967万9千円の純利益となった。

◎**監査意見**→開院2年目の平成29年度決算において、純利益を確保した。病床利用率は高い水準を保っており、入院収益・外来収益とも前年度に比べ大幅な増となっている。また、経営分析に係る各種指標も総じて改善傾向にある。これらは病院事業管理者のもと医師、看護師その他職員が一丸となり努力した成果である。今後は、企業債（101億円）の償還や減価償却費の増加などが見込まれるが、引き続き健全な経営を期待したい。

・下水道事業→処理区域内人口は前年度に比べ334人減となり、普及率は前年度を上回っている。年間総処理水量と年間有収水量（水道料金徴収の対象となった水量）は前年度より増となった。

※**監査意見**→一般会計補助金を受けていること及び平成28年度に下水道使用料を改定したことなどにより、昨年度に続き純利益を計上しているが、今後においては「企業債の償還、管きよや施設の老朽化に伴う改修・更新、耐震化などの多額の費用が必要なが見込まれる。未接続世帯への接続促進や滞納対策を的確に行い、収入の根幹である下水道使用料を安定的に確保すると共に費用の抑制に努め、経営基盤の強化及び一般会計補助金の削減に取り組まれたい。利益は5億7006万3千円の純利益となった。



↑ 春日部市水道部

← 春日部市立医療センター

3. 条例の一部改正について(主なもの)

①春日部市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について

- ・埼玉県「重度心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱」の改正に伴い、条例の一部を改正するもの。改正の概要は、所得の基準と適用除外を設けた等。

詳しくは、障がい支援課（春日部市役所048-736-1111）にお問い合わせください。

②春日部市立看護専門学校条例の一部改正について

- ・学校の学生の定員の見直しを行うもの。学生の総定員は90人とし、各学年の定員は30人とするもの。平成32年4月1日から施行となる。

③財産の取得について

- ・春日部消防署災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車
取得金額2億941万2千円（税込み）
- ・春日部消防署東分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用敷材
取得金額3244万3200円（税込み）



④未処分利益剰余金の処分について

※未処分利益剰余金とは、目的等が特定されていない使い残りのお金のこと。

平成29年度決算において生じた未処分利益剰余金について処分するもの。

- ・水道事業会計は、12億1334万7482円を（1）建設改良積立金として6億1162万2312円を積み立てる。（2）資本金として6億172万5170円を組み入れる。
- ・下水道事業会計は、11億6362万9608円を（1）減債積立金として5億7006万3788円を積み立てる。（2）資本金として5億9356万5820円を積み立てる。

※減債積立金とは、企業債の償還のための積立金のこと。

4. 9月定例会一般会計補正予算について (補正額12億8798万6千円)

- ・歳出の主なものとして、市内各地のブロック塀の安全対策で約517万円、市営牛島住宅敷地の樹木伐採等や市営牛島市営住宅の解体、埋設管撤去等で4850万円、西金野井第二土地区画整理事業の企業債償還に伴う繰り出し金として4億2620万円、土地開発公社より土地取得として4億1098万3千円、その他として市民税事務での新しい申告受付システムの導入、旧商工振興センター跡地の測量及び土地鑑定、小中学校のエレベーター更新の設計等です。

所感

監査委員でも議会に出席しなければなりません。但し一般質問が行えないのが残念です。しかし他の議員の一般質問が参考になるところが多くあります。常に勉強と考えています。まず、一番の課題である国民健康保険特別会計ですが一般会計から多額の繰入金がかかっています。そして収納率が低いなど課題が多くあります。平成30年度から制度が変わり、埼玉県が運営の中心的役割を担うことになりました。市は資格管理（被保険者証の発行など）や保険税の賦課・徴収・保険給付等を行います。課題等にどのように取り組んで行くのか見守ってまいります。他の会計や各事業も一般会計から繰入金を頂いて利益を出している状態です。それでも一般会計は22億円の黒字です。



これからも「さとう ^{はじめ}」は、市民の皆様の為に、頑張ります!!

公式ホームページ <http://satouhajime.com/>

※ブログ・facebookページもあります。

※12月議会は11月26日(月曜日)から開会予定です。

